



試用
レポート

タイプ80シリーズ特別バージョン ポラロイド「Chocolateフィルム」 日比野 和範

セピア調といわずに「^{チョコレート}Chocolateフィルム」の洒落たネーミングが示すとおり、重厚なチョコレート色の作品が撮れるフィルムで、使用するカメラ次第で描写はシャープにもソフトにも写る。まさにチョコレートのような美味しい味付けができるグルメなフィルムがポラロイド「Chocolateフィルム」である。

若者たちにモノクロブームが起きたころに、昔懐かしいセピア調の撮れるフィルムとしてカラー現像処理のセピア調フィルム（コニカモノクロームセピア調400）が注目された。

当時のコニカの調査では、コアターゲット層（若い層）は、やや赤みの強い茶系を好み、年齢層が高くなるに従って黄色味が強いセピア調を好む傾向があるとのことで、コニカのセピア調フィルムも、やや赤みの強い茶系のフィルムであった。

街のDPE店にプリント依頼をすると、プリンター自身の感性も加味されてか、なんとなく色が浅い気がして重厚感のないプリントが仕上がってくるのが多く、カラーネガゆえに焼増プリントのたびに色がココロ変わったプリントができ上がってくるなどで、興味は大いであっても積極的に使わなかった。

この「Chocolateフィルム」は、あえてチョコレートフィルムというだけに適正な露出を与えれば露出オーバーで白トビが顕著に出ることもなく、濃度の濃い重厚感あるプリントがその場でできあがる。

色あせたようなセピア色でなく重厚感あるセピア調の色調によるアートステック調の表現もレトロ調の表現も撮影者の意図次第で撮れそうな作品創りフィルムに仕上がっている。

「Chocolateフィルム」の特徴と使えるボディ

このフィルムは、米国ポラロイド・コーポレーションが推進するブランドライセンス事業の一環として、全世界での販売権・ブランド使用权を有すUNVERKAEUFLICH handles社（オーストリア・ウィーン）が企画し、ポラロイドのスコットランド工場生産されたタイプ80シリーズの特別バージョンで、4月25日より世界限定5,000本（日本1,000本）で限定発売されている。開発に際しては、タイプ88のネ



「Chocolateフィルム」とPolgaSun4セット。フィルムパッケージも洒落ている。まるで海外旅行みやげのチョコレートのようなパッケージに納まった「Chocolateフィルム」
感度：ISO100相当 フォーマットサイズ：8.3×8.6cm 実画面サイズ：6.9×7.2cm 枚数：1パック10枚撮り、2パック入り 仕上り：セピア調（光沢仕上）コントラスト：中 現像時間：60秒（21～35）生産国：イギリス 生産本数：日本国内向け500箱（シングル換算1,000本）限定。無くなり次第販売終了 価格：2本入りツインパック¥5,880 取扱店：エー・パワー ネット直販 他
<http://www.doctor-and.com>

ガに、タイプ87のポジ、さらにタイプ82の現像液を使用したセピア調に仕上がる驚愕の超ハイブリッドフィルムで、感度はISO 100の設定。

すでに販売終了となったタイプ84（ISO 100モノクロ）ファンにも充分堪能できる魅力的なフィルムだが、数量限定販売という点だけが惜しいかぎりである（長く売って欲しいフィルムなだけに）。

販路に際しては、ポラロイド・コーポレーション（含む日本ポラロイド）ルートではいっさい販売されないため、日本国内ではエー・パワーから発売されている貴重な限定フィルムとなる。

なお、このフィルムが使用できるカメラは、POLGAシリーズ1～4型（含むPolgaSun4）、Pinhole-80、ポラロイドProPackカメラ・EE100などである。ハッセル用ボラバック、マミヤ用ボラバックでも使用可能であるが、ハッセル用では若干の改造が必要。マミヤ用では改造しても画面が若干切れるとのこと。

PolgaSun4で写す「Chocolateフィルム」

この「Chocolateフィルム」の楽しみ方は、鮮鋭な作品づくりが目的であれば高性能なカメラにボラバックを使用しての撮影ということになるが、もっと手軽にアートステックな作品を撮ってみたいとなると、POLGAシリーズやPinhole-80で味のある写真を撮ることでもおもしろい作品が撮れそうとの判断から、今回





【Chocolate in 横浜】当時のレトロモダンを写す。横浜のモダンなレンガタイルの建築物を、このフィルムで撮ると歴史のなかにタイムスリップしたような重厚感ある写真が撮れる。当時の建築様式の魅力がチョコレート色の色調を通して伝わってくる印象だ。PolgaSun4セット使用、絞りF8・1/100秒



【Chocolate in 江ノ島】懐かしい光景を写す。海の家建設風景や江ノ電。二眼レフが流行った時代に、江ノ島海岸に遊びにきたときに写したようなスナップ写真が現代に甦る。今年撮ったのに、昔の江ノ島海水浴光景が目につかびそうだ。PolgaSun4セット使用、絞りF8・1/100秒

はPolgaSun4にて写してみた。

PolgaSun4は、レンズ絞り値がF8相当のみ（実際はPolgaSun4専用の撮影補正レンズ取り付け撮影するため、実絞り値はもう少し暗いと考えられる）でシャッター速度は1/100秒単速であるため、曇天・雨の日や寺社の境内などの光線状態は得意でなく、晴天の日の順光で撮影することが成功の秘訣であるが、このフィルムは若干アンダー気味に撮ることで色の濃い雰囲気ある色調が得られるため、PolgaSun4専用の撮影補正レンズ併用によるレンズの明るさ（若干暗めになること）をまったく気にせず撮っている。

PolgaSun4では撮影レンズの先に専用の撮影補正レンズを付けて撮影することから、フィルムの4隅に若干のケラレが生じるが、これもアーステックやレトロ調に写すためのスパイス効果という雰囲気でも、慣れてしまえば、この効果を逆利用したレトロ調の作品を作りたくなるのも不思議だ。

やはり、「Chocolateフィルム」には甘い魔物が住み着いていそうで、一度手を出すとハマってしまうが、このフィルムが限定生産品であることが残念で、入手可能なうちに至福の「Chocolateフィルム」遊びを堪能したい。